

掲示板

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。
 次回3月1日号の締め切りは2月8日(金)です。
 詳しくは、本庁秘書広報課広聴広報係 ☎21-8182へ。

千厩地域市民劇場「地蔵田物語」

～祈りが実る秋～『地蔵田物語』と題して、千厩町奥玉地区を舞台としたオリジナル劇を上映します。
 ◆日時…2月23日(土) 13:30開演
 ◆会場…千厩体育館
 ◆入場料…1000円(中学生以下無料)
 ◆入場券取扱所…エスピア、日野屋ブックセンター、千厩地域内各公民館など
 ◆主催…千厩地域市民劇場実行委員会
 ◆主管…どっから座
 ◎問い合わせ先…小野寺 ☎52-2369

デモンストレーター「匠」講習会

基本からカービングまで、『スキーの楽しさ』をテーマに行います。
 ◆日時…2月9日(土) 9:45～
 ◆場所…まつるベスノーランド
 ◆講師…三浦孝純さん(SAJデモンストレーター・関市スキー協会)
 ◆定員…先着15人
 ◆参加料…5000円(リフト券等含まず)
 ◆資格…18歳以上で2級程度の技術の人
 ◎問い合わせ先…まつるベスノーランド スキースクール事務局 鈴木 ☎090-1067-5305

シニアワークプログラム「内装」

◆日時…2月12日(火)～18日(月)のうち4日間、9:00～16:00
 ◆会場…関市シルバーワークプラザ
 ◆対象・定員…おおむね60歳代前半の高齢者職者・先着15人
 ◆受講料…無料
 ◆受付期限…2月5日(火)
 ◎問い合わせ先…(株)関市シルバー人材センター関事務所 ☎26-3760

第24回一関雪まつり



今年も、本寺・小猪岡・瑞山・山谷・達古袋・巖美・狐禅寺地区などの子どもたちによる雪像作りを行います。
 ◆日時…2月3日(日) 9:00～12:00
 ◆会場…まつるベスノーランド
 ◎問い合わせ先…巖美公民館 ☎29-2205

中心市街地活性化フォーラム

「地域資源を活用したまちづくりを考える」をテーマに、中心市街地活性化に対する市の取り組み状況や民間での活動状況の報告、中心市街地と各地域の連携などについてのフォーラムを開催します。
 「もち」を活用した活性化などについて国から派遣された専門委員が一関の中心市街地活性化の取り組みについて診断・助言を行います。
 ◆日時…2月10日(日) 14:00～17:00
 ◆会場…世婚の酒造イベント蔵
 ◆内容…「もちを活かしたまちづくり」と題した講演、専門委員による報告会
 ◆受講料…無料
 ◆専門委員…熊谷圭介さん(㈱ラック計画研究所代表取締役)、政所利子さん(㈱玄代表取締役)
 ◆その他…参加希望の人は事前に下記まで連絡ください
 ◎問い合わせ先…市商業観光課 ☎21-8412

第2回市民スキー大会参加者募集

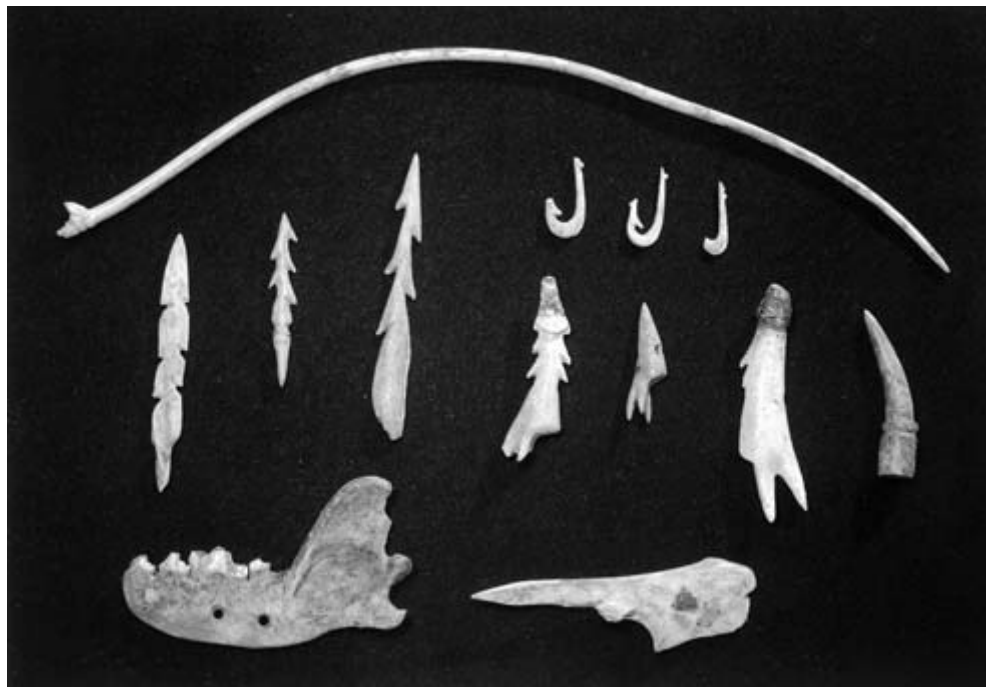
◆日時…2月17日(日) 9:30競技開始
 ◆会場…まつるベスノーランド南コース
 ◆種目…大回転(スキーおよびスノーボード)
 ◆受付期限…2月10日(日) 12:00
 ◆申込方法…市内スポーツ店に備え付けの大会要項・申込書により店頭で申し込み
 ◎問い合わせ先…一関市スキー協会 小野寺 ☎090-7060-9704

ユネスコ講演会

◆日時…2月17日(日) 13:00～15:00
 ◆会場…太陽と風の家
 ◆講師・演題…東島未起さん(岩手県ユネスコ協会副会長)・「世界の子供たちの幸せを願って」
 ◎問い合わせ先…東山ユネスコ協会事務局(市東山支所産業経済課内) 小野寺 ☎47-4523

営農大学講座「有機農業」

新規就農時から有機農業に取り組み、自然との共生の中で無農薬・無化学肥料栽培にこだわる姿を紹介し、有機農業の魅力に迫ります。「パーマカルチャー」についても併せて紹介します。
 ◆日時…2月9日(土) 13:30～15:30
 ◆会場…大東農業技術センター
 ◆講師…酒匂徹さん(花巻市 自然農園ウレシパモシリ代表)
 ◆演題…「生命力あふれる有機農業」～自然との共生の中で～
 ◆受講料…無料
 ◎問い合わせ先…大東農業技術センター ☎75-2922



貝島貝塚ほかから出土した、獣骨などで作られた漁労の道具と装身具類
 (「岩手の遺跡」(岩手県埋蔵文化財センター編)から転載)

花泉町油島地区にある貝島貝塚は、別名「蝦島貝塚」とも呼ばれる縄文時代の遺跡で、畑から貝殻や骨角器が出土することが以前から知られていました。初めて本格的な調査が行われたのは昭和31年。その後4回にわたり本格的な発掘調査が行われました。
 貝塚とは、古代人が食べた貝類の殻などを捨てたものが堆積したごみ捨て場のこと。貝殻に含まれるカルシウムが酸性の土壌を中和し、考古遺物が保護されるため、貝塚では貝殻とともに捨てられた獣骨や骨角器なども多く出土します。
 貝島貝塚では、多数の埋葬人骨や埋葬犬、オオタニシ、ベンケイガイなどの貝類、イノシシやシカなど、縄文時代中期から弥生期にわたる土器、装身具類、骨角器など、当時の生活を知る上で貴重な資料が多数出土しました。
 とりわけ、人骨の出土数は日本有数。これまでに89体が発見されています。特に昭和31年10月に発掘、確認された人骨は、手足を折り曲げた「屈葬」の形式で埋葬され、前歯が「抜歯」されていました。
 屈葬の理由は諸説ありますが、死者の再生を祈る、あるいは死者の霊が生者へ災いを及ぼすのを防ぐため、また、抜歯は成人としての通過儀礼として行われていたものと考えられており、当時の習俗をうかがい知ることができます。さらに詳しく人骨を調査すると、縄文時代中期から後期に生活し、出産を経験した30歳前後の女性であることもわかりました。
 この人骨は昭和60年、県立博物館で長期保存のために乾燥処理が施され、現在は地区内の満昌寺に所蔵されています。
 貝島貝塚は昭和41年3月、県の史跡に指定されました。現在、土地の所有者の好意により見学が可能となっています。

貝島貝塚

文化財探訪

◎問い合わせ先
 花泉支所教育文化課
 ☎2909

花泉地域

今年の元旦は、雪こそ降りましたが穏やかなよい天気恵まれました。平成20年が、このように平穏で、上昇気流に乗ることのできるような年であればと感じました。
 1月2、3の両日行われた箱根駅伝では、一関学院高陸上競技部出身の3人の選手が活躍しました。往路5区で区間7位の力走を見せた阿部豊幸選手(日本大3年)、復路6区を走り駒沢大の総合優勝に大いに貢献した藤井輝選手(4年)、同7区で区間8位の健闘を見せた加藤翔太選手(城西大3年)。一関学院高の全国クラスの力をあらためて示してくれたと同時に、一関の名を全国に発信してくれました。
 昨年を表す言葉は「偽」でありましたが、今年はずいぶんその反対の「真」で表される年になってほしいものです。「真」は「真実」の「真」であり、「真心」の「真」です。いつわりのない「真実」の心、「真心」を込めてそれぞれが頑張ることで、年末には「真」にふさわしい年だったと振り返ることができるようにと心から願う年頭です。(写真成人式で市民歌を歌った新成人と)

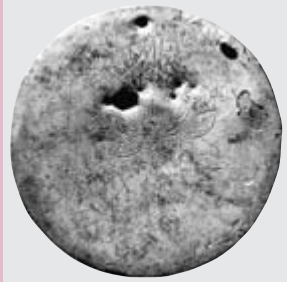


市長 浅井 幸兵衛

ふなの雫 九

一関市博物館案内 ☎29-3180 ホームページhttp://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp

*講座などの申し込みは、電話で先着順



懸仏(御正体) (個人蔵)

展示品の中には、日ごろめったに公開されないのではない文化財や門外不出の仏像など、通常では一度に見ることのできないものばかりです。この機会にぜひご鑑賞ください。
 会期：3月23日(日)まで



木造薬師如来坐像 (願成寺蔵)

一関の文化財展

一関市合併記念企画展
 一関の文化財展
 一地域が守り伝えた重宝